令和６年度

編入学試験要項

情報学部

法学部

経済学部

経営学部

理工学部

建築学部

文芸学部

総合社会学部

農学部

生物理工学部

工学部

産業理工学部

近畿大学

この「編入学試験要項」には、
出願から入学手続完了までの
すべての事項を記載していますので、よく読んで必ず期限内に
手続きを完了してください。

目　次

１．近畿大学教育方針について …… 1

２．募集学部・学科・専攻・コースおよび人員、編入学年 …… 5

３．出願資格 …… 6

４．出願手続 …… 8

５．試験日時 …… 9

６．試験場・試験室 …… 9

７．選考方法 …… 10

８．試験時間割 …… 12

９．合格発表 …… 13

１０．編入学手続 …… 13

１１．編入学後の既修得科目の単位認定について …… 13

１２．入学辞退 …… 14

１３．個人情報の保護 …… 14

１４．理工学部、工学部受験希望の方へ …… 15

１５．その他 …… 16

１６．学費等一覧表 …… 17

１７．ノートパソコン必携化について …… 18

１８．アクセスマップ …… 19

編入学試験要項

1．近畿大学教育方針について

本学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育理念として掲げてきました。この「建学の精神」と「教育理念」は、知識基盤社会へ転換しようとする21世紀の日本において、いっそう必要とされる理念であると自負します。

本学が、総合大学として各学部の特色を生かしながら、共に手を携えて目指そうとしているのは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。真の「実学」とは、必ずしも直接的な有用性を志向するだけではなく、その事柄の意味を学び取ることを含みます。現実に立脚しつつも、歴史的展望をもち、地に足をつけて、しなやかな批判精神やチャレンジ精神を発揮できる、創造性豊かな人格の陶冶を志向するものです。「自主独往の気概に満ち」、生涯にわたって自己の向上に励み、社会を支える高い志をもつことが「人に愛され、信頼され、尊敬される」ことにつながります。このような学生を社会に送り出すことが、これからの時代に、本学が目指す社会的使命であります。

近畿大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、上述の教育方針に基づいており、本学の「建学の精神」と「教育理念」に共感する入学者を国内外から広く受入れます。

1　本学が求める基礎学力と倫理観を備える人。
2　謙虚に学ぶ姿勢を有するとともに、 自ら課題を発見し解決していく意欲にあふれる人。
3「人に愛され、 信頼され、 尊敬される」 前に、 まず人を愛し、 信頼し、 尊敬することのできる人。
4　社会のニーズに対応できる実学や教養及び国際性を身につけたい人。
5　自分の得意分野を伸ばし、 社会に貢献したいと考える人。

を学生として受入れることを目指し、 多様な選抜制度を用意しています。

学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【情報学部】

情報学部では、国際的に通用する高度な学問的素養を持ち、豊かな社会の実現に貢献し、社会的責任を有する自立した技術者の育成を目指しています。このため学部教育での到達目標として、ディプロマ・ポリシーを達成できるようなカリキュラムを提供しており、情報学への適性を兼ね備えた基礎学力を持つ人物はもちろんのこと、基礎学力のみにとらわれず社会のニーズ変化に即した多種多様な能力を持つ人物も併せて受け入れます。具体的には、カリキュラム・ポリシーに従った教育課程に十分従事でき、ディプロマ・ポリシーを達成できることが期待される、下記のような人物が入学することを期待しています。

1　技術と人間、社会、文化の関わりについての基礎的な洞察力を持つ人。
2　技術者の社会的責任について理解し、それを誠実に遂行しようとする倫理観を持つ人。
3　知的好奇心があり、情報技術をベースとする工業製品あるいは社会システムへの応用に強い関心を持つ人。

また、情報学部に入学するまでに、次のような教科の内容を理解し、それらに即した記載の能力を持っていることが望まれます。

数　　学：数学的公理や定理を活用した推論能力、論理的思考力
理　　科：自然現象を数式や化学式でモデル化する能力
外 国 語：文法に則って英文の文意を正確に理解する能力
国　　語：日本語の基礎的な読解力、及び論理的な記述力

【法学部】

法学部は、近畿大学建学の精神に則り、法学部の教育目的を実現するため、その教育方針に則って法学部の授業を学び、法治社会の構成員である主体的・自律的に振る舞うことのできる市民に成長して卒業していく学生を志すにふさわしいものとして、以下に掲げる法学部での履修に必要な基礎学力を有する入学生を求めています。

1　社会の成り立ちと仕組みについて関心・知識を持ち、客観的に考察する意欲のある人。
2　社会の課題を客観的に考え、解決の道筋を探る意欲のある人。
3　ものごとを論理的に考えることのできる人。
4　規律を理解しこれに従って行動することのできる人。
5　自然現象や環境について広く関心・知識を持つ人。
6　社会の中で他者を思いやり、共に成長する意欲のある人。
7　国際社会の一員として他国の文化を知りその人々と交流する意欲のある人。

このような人材として、法学部に入学するまでに、次の教科・科目の内容の理解や素養・知識を有していることが望まれます。

高等学校主要教科：社会を形成する市民として求められる教養
地歴・公民：1）社会の成り立ち、仕組みや課題についての客観的・批判的な考察力
　　2）公平・正義といった社会の指導的理念に基づいた論理的な思考力
　　3）社会にある規律の理解と遵守
数学・理科：自然現象・環境についての客観的な観察ならびに論理的な思考力
国　　語：同じく社会に生きる他者への配慮と意思の疎通
英　　語：外国の人々・文化・社会に対する関心と交流

法学部の入学選考では、多元的な評価尺度による入学試験を行ない、冒頭に述べた法学部での履修に必要な基礎学力を具えた多様な人材を受け入れることを目指しています。

1. 大学入学共通テストを利用する入学選考においては高等学校主要科目を重視し、公募制推薦入試においては国語、英語、一般入試においては地歴・公民、数学、国語、英語に関する理解・知識等を測っています。
2. 指定校推薦、附属特別推薦やスポーツ推薦等の特別入試では、小論文や口頭試問等により上記の基礎学力を測っています。

【経済学部】

経済学部は、近畿大学建学の精神に則り、高度な分析力を有し、人間が生きる上での基本となる経済活動と、そこから派生する様々な社会経済現象を通底する論理を的確に読み解き、現代社会を生き抜く力を持った人材を育成します。このために、次のような入学者を受入れます。

1　人間・社会・経済に対する強い関心を持つ人。
2　日本語・外国語の読解力や論理的思考能力を中心とした基礎学力を有する人。

また、経済学部に入学するまでに、次のようなことを身につけていることが望まれます。

国　　語：日本語の基礎的な読解力、表現力、論理的な思考力
外 国 語：外国語文献の読解力、異文化への理解
数　　学：論理的な思考力、数的な処理能力
理　　科：科学的な物の見方、社会を支える科学技術への関心
地歴・公民：歴史の大きな流れの理解、社会の基本的仕組みの理解

【経営学部】
経営学部は、近畿大学建学の精神に則り、ビジネスの中核を担う企画力と実行力を持つ有為な人材を育成します。このために、次のような人を幅広く受入れます。
1 未知の領域に挑戦し、知識や技能をビジネスに活かす高い意欲を持つ人。
2 学びへの努力を惜しまず、社会へ貢献することを自分の喜びとして行動できる人。
3 活躍の場を広く求め、コミュニケーション能力の向上に積極的に取り組む人。

また、経営学部に入学するまでに、次の教科の内容を理解し、身につけていることが望まれます。
国　　語:基礎的な日本語の読解力、論理的な思考に基づいた表現力
外 国 語:基礎的な語彙と構文を用いて比較的簡単な情報を理解し、考えを表現できる能力
地歴・公民:地理・歴史の観点から社会を理解する基礎的知識と社会の仕組みに対応していくための分析能力
数　　学:物事を数学的に捉えて、考える能力
理　　科:自然現象を観察する科学的態度と探求心
特別活動:自主的で協調的な態度と奉仕の心

経営学部は一般公募推薦入試において、国語、外国語を入試科目とすることで、日本語・外国語の読解力や論理的な思考力を有する学生を求めています。さらに、一般入試において、国語、外国語に加えて数学または地歴・公民を入試選択科目とすることで、日本語・外国語の読解力や論理的な思考力だけでなく、物事を数学的に捉えて考える能力、社会を理解する基礎的知識と社会の仕組みに対応していくための分析能力を有する学生を求めています。

【理工学部】
理工学部は、近畿大学建学の精神に則り、実学教育のもとに社会で求められる創造性豊かな人材を育成します。このため学部教育での到達目標として、ディプロマ・ポリシーを達成するためのカリキュラムを提供し、国際化に対応できる学問的素養、的確な判断力、社会をリードできる能力の伸長を重視します。従って、各学科への適性を兼ね備えた基礎学力を持つ人材はもちろんのこと、基礎学力のみにとらわれず社会のニーズ変化に即した多種多様な能力を持つ人材も併せて受け入れます。具体的には、カリキュラム・ポリシーに従った教育課程に従って学修に励み、ディプロマ・ポリシーを達成できることが期待される、次のような資質を持つ人材を受け入れます。
1 理工学部での履修に必要な基礎学力、思考力および表現力を有し、学修の遂行に意欲を持つ人。
2 社会への貢献、公共の福祉を理解し、これらを尊重することのできる倫理観を持つ人。
3 知的好奇心があり、自然科学及び科学技術に対して強い関心を有する人。
4 将来の目標を定め、目的意識と主体性を持ち、多様な人々と協働して学修に取り組むことができる人。

本学部の入学試験では上記の人材を選抜するために、一般選抜における専門科目に関する学力試験、推薦選抜における口頭試問など多様な評価を複数の入学試験で適切な時期に行うとともに、高校時の学業成績なども踏まえ多元的な尺度で評価し、受験生が各自の適性に応じて適切な入学試験を選択できる機会を充分に提供しています。また、理工学部に入学するまでに、次のようなことを身につけていることが望まれます。数学・理科については各学科コースのアドミッション・ポリシーをご参照ください。
国　　語:日本語の読解力、表現力、論理的な思考力
外 国 語:英語文章の大意を汲み取り、表現できる能力、平易な英語を聞きとる能力
数　　学:数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bのうち、当学部各学科・コースでの学習に必要な内容の基礎知識、計算能力および論理的思考力
理　　科:物理、化学、生物のうち、当学部各学科・コースの学習に関連する分野の基礎的知識、実験に基づく考察力および計算力
地歴・公民:社会の仕組みと変化する社会情勢に対応していくための基礎知識および社会的素養
特別活動:自主的、協調的な態度と社会への貢献および公共の福祉と倫理観に関する基本的理解

【建築学部】
建築学部は、近畿大学建学の精神に則り、従来の「つくる」ことを主たる目的とした建築学に加え、「守り・育てる」建築学を学ぶ場を提供し、実学教育によって、現代社会の課題を読み解き、その課題解決に貢献する新しい建築を創造する人材を育成します。このために、次のような人材を受入れます。
1 建築関連分野に対して幅広い興味・関心を持つ人。
2 建築学の修得に必要な基礎学力を修得している人。
3 社会における互いの多様な価値観を理解し、これらを尊重することのできる倫理観を持つ人。
4 地域環境・地球環境との共生の大切さを理解し、社会に貢献できる新たな技術を創造しようとするチャレンジ精神を持つ人。

国　　語:基礎的な日本語の読解力、表現力、論理的な思考力
外 国 語:目的に応じて情報を得ることができ、考えを正確に理解し、表現できる能力
数　　学:事象を数理的に考察し表現できる能力
理　　科:自然現象に対する科学的な思考・判断をするための基礎的知識
地歴・公民:変化する社会情勢に対応していくための歴史・風土・政治・経済に関する基礎的知識
特別活動:自主的、協調的態度と奉仕の心

近畿大学建築学部の入学試験では上記の人材を多元的な評価尺度で選抜するために、理系・文系を問わず受験可能な科目選択の方式を採用します。
また、高等教育レベルでの基礎学力に加え、建築に対する意欲・能力を評価することを目的として推薦入試を実施します。

【文芸学部】
文芸学部は、近畿大学の「建学の精神」、「教育理念」に則り、それにふさわしい人材を育成するため、以下のような意欲と能力を持つ人を入学者として受入れます。選抜の方法は、学科専攻のアドミッション・ポリシーに則り、筆記試験と実技試験、口頭試問等によって、文芸学部で学ぶ意欲と能力を判定します。文芸学部では、文学、歴史、文化、思想、芸術、コミュニケーションの知識や技能を身につけ、社会に対し創造的な貢献のできる人を育成します。
1 文学、歴史、文化、思想、芸術、コミュニケーション等、人間の人文学的・精神科学的領域の探求に意欲を持つばかりでなく、広く自然科学の領域にも関心を持つ人。
2 知識や技能を修得する能力だけではなく、新しい創造と発見に向けて自らを琢磨する意欲を持つ人。
3 社会の中の一員としての責任を自覚し、公共的コミュニケーションを保ちつつ社会に寄与する人格の形成を目標とする人。

また、文芸学部に入学するまでに、以下のような科目を履修し、それぞれについて教科書に基づく知識を修得していることが望まれます。
国　　語:日本語の読解力・表現力・論理的思考力、古文の基礎的能力
地歴・公民:日本史、世界史、地理、政・経の基礎的知識
数　　学:数学Ⅰの基礎的能力
芸　　術:音楽・美術・工芸・書道のいずれかを修得
外 国 語:英語のコミュニケーション・読解・表現についての基礎的能力
情　　報:パソコンの基本ソフトの活用力

【総合社会学部】
ディプロマ・ポリシーに示したような人材の育成を目標として、総合社会学部では、次のような入学者を受入れます。
1 大学での学びに展開できる確かな基礎学力を持った人。
2 様々な社会問題や人間行動に関心を持っている人。
3 新たな社会のあり方について関心のある人。
4 自律的に課題を見出し、論理的・科学的に考えるための素地がある人。

なお、高校までの科目履修等によって以下のような能力を身につけていることが望まれます。
国　　語:論理的・構造的に思考するための読解力・表現力が身についている
地歴・公民:日本及び世界の情勢や地域特性について総合的に理解している
数　　学:データ等を用いて論理的・客観的に思考できる基礎的素養が身についている
外 国 語:基礎的な技能(読解能力、作文能力と会話能力)と語彙力が身についている

【農学部】

農学部では、近畿大学建学の精神に基づき、地球環境と生命現象に興味を持ち、暮らしに役立つ未来の技術を開拓し、グローバルな視野を持って社会に貢献しようとする人材を育成します。そして、学部の教育理念「積極的なチャレンジ精神を持ち、心豊かで社会に貢献できる人材を育成する」に基づき、社会的ニーズに対応した専門的知識と技術を修得し、豊かな倫理性・人間性を兼ね備えた実践的な人材を育成します。このため、カリキュラムポリシーに示す教育プログラムを学修するために必要な適性を有する学生として、次のような入学者を受け入れます。

1 農学部での履修に必要な基礎学力をもち、学修意欲の高い人。
2 自然科学に対して強い知的関心を持つことのできる人。
3 自分の行動に責任を持ち、福祉や科学倫理、科学技術への理解を深めることができる人。
4 将来の目標を定め、目的意識を持って学修に取り組む人。

また、農学部に入学するまでに次のような教科の内容を理解し、身につけていることが望まれます。

国　　語:読解力、表現力、作文力
外 国 語:英語の語彙力、基礎的な読解力、表現力、作文力
理　　科:化学、生物、物理に関する基礎的な知識
数　　学:基礎的な計算力と論理的な思考力
特別活動:自主的、協調的な態度と奉仕の精神、社会情勢への関心と対応力

農学部は、多様な学生の受け入れのため、推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用方式、大学入学共通テスト併用方式、外国人留学生入試、編入学試験の6つの方法で入学者の選抜を行います。推薦入試では、一般公募推薦入試に加え、指定校推薦入試と専門高校・専門学科・総合学科等を対象とする推薦入試を実施しています。

一般公募推薦入試以外の推薦入試、外国人留学生入試、編入学試験では、個別面接試験を課し、幅広い分野から多様な能力を有した学生を求めます。

一般公募推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト併用方式では、近畿大学の個別学力試験を課しています。また、大学入学共通テスト利用方式、大学入学共通テスト併用方式では、大学入学共通テストを課しています。

これらの入試では、高い基礎学力を有した学生を求めます。

【生物理工学部】

生物理工学部は、近畿大学建学の精神に則り、生命科学と理工学の学際的分野で、系統的な基礎科目の教育と学科毎に高度な専門教育を実施して、社会に貢献できる多様性を持つ優れた人材を育成します。このために、次のような入学者を広く受入れます。

1 各学科での履修に必要な基礎学力を十分に有している人。
2 自然科学と最先端の科学技術に広く関心を持つ人。
3 将来の目標を定め、強い意志を持って勉学を志す人。
4 能動的に学ぶ姿勢を有している人。
5 幅広い視点から論理的に課題を解決していく意欲にあふれる人。
6 高い倫理観を持って謙虚な姿勢で社会に貢献しようと志す人。
7 他者との関わりを大切にし、コミュニケーション能力を高め、社会に飛躍しようとする人。

また、生物理工学部に入学するまでに、各教科において高等学校卒業相当の学力を有するとともに、次のようなことを身につけていることが望まれます。

国　　語:国語を適切に用いて自分の考えを的確に伝える能力と、文章を論理的に正しく読み解く能力
外 国 語:英語を用いて情報や考えなどを理解し伝える基礎的な能力と、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度・姿勢
数　　学:数学における基本的な概念や原理を理解し、数学的な見方や論理的な考え方を身につけて、積極的に活用する能力
理　　科:自然に対する関心や探究心があり、観察や実験などを通じて、人間と自然のかかわりや生物とそれを取り巻く環境について総合的に考察する能力
地歴・公民:世界の生活・文化の歴史的・地域的特色について理解し、社会の一員として主体的に生きる自覚と資質

上記の生物理工学部が求める入学者を選抜するために、一般入試・推薦入試のほか大学入学共通テストを課す共通テスト利用方式・共通テスト併用方式を実施します。

推薦入試では、個別学力試験として英語と選択科目(数学・理科から1科目選択)を課し、高等学校での学習達成度を測ります。一般入試は、前期(A日程)、前期(B日程)、後期の3つがあり、それぞれ個別に学力試験として英語、理科、選択科目(数学・国語から1科目選択)の3科目を課し、基礎学力と論理的思考力を測ります。共通テスト利用方式(前期・中期・後期)では大学入学共通テストの英語、国語、数学、理科、地歴・公民から2、3あるいは5科目を課し、基礎学力の学習達成度を測ります。共通テスト併用方式では、大学入学共通テストの英語、国語、数学、理科より高得点科目として3科目[共通テスト併用方式(A日程)]、2科目[共通テスト併用方式(B日程)]、あるいは1科目[共通テスト併用方式(後期)]を利用し、本学の個別学力試験を加えて、自然科学に関する幅広い知識と論理的な課題解決能力を総合的に評価します。

また、近畿地方を中心に本学部の選定基準に達する高校を対象として指定校推薦入試を行い、口頭試問により、自然科学に対する高い関心・学修意欲、論理的思考力、表現力などを総合的に評価します。

さらに、専門高校、専門学科・総合学科等の学科を対象とする推薦入試を行っており、小論文と口頭試問により、学修意欲、論理的思考力、特別活動・課外活動などを総合的に判定します。

【工学部】

工学部では、近畿大学建学の精神に則り、持続可能な社会を築くための技術者・研究者として必要な高い人格と倫理観(人間性)、専門能力(専門性)及び国際化時代を生き抜く力(国際性)を実学教育のもとに育成します。このために、次のような人を求めています。

1 工学部での学修に必要な基礎学力を有し、旺盛な学修意欲のある人。
2 社会における互いの多様な価値観を理解し、これらを尊重することのできる倫理観のある人。
3 自然との共生の大切さを理解し、社会に貢献できる新たな技術を創造しようとするチャレンジ精神のある人。
4 国際的な視点に立って行動しようとする意欲のある人。

(入学者選抜の基本方針)

工学部では、上記に示す人材を選抜するために、複数の受験機会と多様な入試制度を設けています。

1 推薦入試(一般公募)及び一般入試では、個別学力検査において、外国語、数学、国語、理科(物理、化学、生物より1科目選択)、地理歴史(世界史、日本史、地理より1科目選択)により基礎学力を有している人を選抜します。
2 大学入学共通テストを利用した共通テスト利用方式では、外国語、国語、数学、理科、地理歴史、公民により幅広い基礎学力を有している人を選抜します。また、大学入学共通テストと本学一般入試の成績を組み合わせて判定する共通テスト併用方式も実施しています。
3 総合型選抜(AO入試)では、数学に関する模擬講義と確認テストに加え、口頭試問及び出願書類によって、多面的、総合的な判定により、能力、適性、意欲を有している人を選抜します。
4 その他の推薦入試(学校推薦型選抜)では、口頭試問及び出願書類によって、総合的な判定により、能力、適性、意欲を有している人を選抜します。
5 外国人留学生入試では、日本留学試験の活用と口頭試問及び出願書類によって、基礎学力と意欲を有している人を選抜します。
6 編入学試験では外国語、数学の記述試験と口頭試問及び出願書類によって、基礎学力と意欲を有している人を選抜します。

また、工学部に入学するまでに、次のようなことを身につけていることが望まれます。

基本的なコミュニケーション能力
国　　語:基礎的な日本語の読解力、表現力、論理的な思考力
外 国 語:基礎的な語彙と構文を理解できる能力、考えを表現できる能力
数　　学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列・ベクトル)
理　　科:「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」
地理歴史:「世界史B」、「日本史B」、「地理B」

【産業理工学部】

産業理工学部は、近畿大学建学の精神に則り、実学教育のもとに、理系4学科では技術に偏らずコミュニケーション能力を持ったフロンティア人材を育成し、経営ビジネス学科では専門的知識に基づいた分析により組織をマネジメントしチームの潜在能力を高める能力を備えた人材を育成します。このために、次のような入学者を受入れます。

1 自然科学や人文・社会科学の学修に必要な基礎知識、思考力、判断力、表現力を持っている人。
2 新たなテクノロジーやイノベーション、世界の動向に強い関心があり、専門分野に偏ることなく広く学ぶ意欲のある人。
3 これからの新しい社会を築く試みに主体性を持って取り組み、多様な人々と協働する姿勢を持っている人。
4 大学で学んだことを生かして、地域社会や国際社会に貢献したい人。
5 実学教育と文理協働の発想に基づく教育に共感する人。

（入学前に学習すべきこと）

高等学校で学ぶ数学、国語、外国語はすべての分野に通じるので、十分な基礎学力を身に付けておいてください。理科と地理歴史・公民については、専門分野と関係のある科目を中心に応用力も磨き、専門分野と直接関係の無い科目についても多様性を広げ世界の動向を理解するのに役立つので興味を持って学習してください。また、思考力、判断力、表現力を身に付けるとともに、物事に対する探究心と主体的に問題を解明・解決する姿勢を養ってください。

各教科では、とくに以下の能力を身に付けるように努めてください。

国語
- 社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う能力。
- 他者との間で的確に伝え合い、思考し想像する力。
- 我が国の言語文化の担い手としての自覚と、生涯にわたり国語能力の向上を図る態度。

外国語
- 外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能。
- 日常的な話題や社会的な話題について、外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解し適切に表現することができる能力。
- 外国文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。

数学
- 数学における基本的な概念や原理・法則を理解していること。
- 物事を論理的に考察し、その本質や他との関係を数学的に表現・処理する技能。
- より具体的には、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学Bで学ぶ基礎的な知識と計算力。

理科
- 自然現象についての理解を深めるために必要な観察、実験などに関する技能。
- 見通しを持って観察や実験などを行い、科学的に探究する力。
- 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学の法則・原理に照らし合わせて探究しようとする態度。
- 「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1科目以上に関する基礎的な知識。

地歴・公民
- 日本と世界の歴史、及び現代の倫理・政治・経済の仕組みを理解するとともに、資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能。
- 地理や歴史的出来事の意義、及び相互の関連を多面的に考察し、効果的に説明する力。
- 現代社会の問題について、多面的に考察し公正に判断する力や社会参画を視野に入れて議論する力。
- 地理や歴史的問題に加え、現代の諸問題について、よりよい社会の実現を視野に入れて主体的に解決しようとする態度。

（入学者選抜の基本方針）

産業理工学部では、上記に示す人材を選抜するために、多様な入試制度を設けています。

1 推薦入試（一般公募）では、個別学力検査において外国語、及び数学もしくは国語からの1教科（計2教科）選択により高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、加えて高等学校長が提出した推薦書等により各専門分野の修学に必要な科目の履修修得状況と学習意欲等を評価します。なお、外国語力についてはTOEFLやTOEIC等の外部試験の受験成績で評価することも可能です。
2 一般入試では、個別学力検査において外国語、数学①または数学②もしくは国語からの1教科選択、及び理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物）もしくは地理歴史（世界史B、日本史B、地理B）からの1科目（計3教科3科目）選択により高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。
3 共通テスト利用方式（大学入学共通テスト利用）入試では、外国語5科目（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語）、国語、数学6科目（数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎）、理科4科目（物理、化学、生物、地学）、地理歴史6科目（世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B）、公民4科目（現代社会、倫理、政治・経済、倫理・政治・経済）からの3教科3科目選択又は5教科5科目選択を基本として課すことにより高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。
※ 共通テスト利用方式には前期、中期、及び後期の3方式があり、また共通テストと本学一般入試から各2科目の成績を選択し評価する共通テスト併用方式による判定も行っています。
4 総合型選抜（AO入試）では、数学もしくは英語（経営ビジネス学科）に関する学力試験により高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、出願書類（調査書・自己紹介書・プレゼンテーションシート）、及び口頭試問もしくは課題に対するプレゼンテーション（経営ビジネス学科）により各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を評価します。
5 指定校推薦入試・附属特別推薦入試・準附属特別推薦入試では、高等学校長が提出した調査書等の書類により高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、口頭試問により各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を評価します。
6 スポーツ推薦入試では、高等学校長が提出した調査書等の書類により高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、技能試験と口頭試問により当該スポーツ種目（硬式野球）に関する技能・実績と当該学科（経営ビジネス学科）で学ぶ意欲を評価します。
7 外国人留学生入試では、「日本留学試験」の日本語に加え、理科、数学コース1、数学コース2、総合科目から志望学科で定める1科目（計2科目）試験を課すことにより基礎学力を評価し、口頭試問により専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を評価します。
8 編入学試験では、大学はじめ出願資格に定める各種学校が発行した成績証明書等により専門分野に関する科目の修得状況を評価し、さらに外国語もしくは数学（電気電子工学科）及び編入志望学科が指定する専門科目（無機化学、有機化学、生物化学・生物学、電気回路、構造力学、情報処理概論、経営学、会計学）から1科目（計2科目）試験を課すことにより学力を評価し、口頭試問により各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を評価します。

２．募集学部・学科・専攻・コースおよび人員、編入学年

（１）募集学部・学科・専攻・コースおよび人員

学部	学科・専攻・コース		人員
情報学部	情報学科	知能システムコース	５人程度
		サイバーセキュリティコース	
		実世界コンピューティングコース	
法学部	法律学科		１０人程度
経済学部	経済学科		１０人程度
	国際経済学科		
	総合経済政策学科		
経営学部〔学内入学選考〕〔一般入学選考〕	経営学科	(企業経営コース)	１５人程度
		(ＩＴビジネスコース)	
	商学科	(マーケティング戦略コース)	１５人程度
		(観光・サービスコース)	
		(貿易・ファイナンスコース)	
	会計学科		１０人程度
	ｷｬﾘｱ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科		１０人程度
理工学部	理学科	数学コース	３人程度
		物理学コース	
		化学コース	
	生命科学科		３人程度
	応用化学科※		３人程度
	機械工学科	知能機械システムコース	３人程度
	電気電子通信工学科	総合エレクトロニクスコース※	３人程度
		電子情報通信コース※	
	社会環境工学科※		３人程度
	エネルギー物質学科		３人程度
建築学部	建築学科		３人程度
文芸学部	文学科	日本文学専攻(創作・評論コース)(言語・文学コース)	３人程度
		英語英米文学専攻	
	芸術学科	舞台芸術専攻	３人程度
		造形芸術専攻	
	文化・歴史学科		３人程度
	文化デザイン学科		３人程度
総合社会学部	総合社会学科	社会･ﾏｽﾒﾃﾞｨｱ系専攻(現代社会コース)	３人程度
		心理系専攻	３人程度
		環境・まちづくり系専攻	３人程度
農学部	農業生産科学科		３人程度
	水産学科		３人程度
	応用生命化学科		３人程度
	環境管理学科		３人程度
	生物機能科学科		３人程度
生物理工学部	生物工学科		３人程度
	遺伝子工学科		３人程度
	食品安全工学科		３人程度
	生命情報工学科		３人程度
	人間環境デザイン工学科		３人程度

工　学　部	※化学生命工学科（生物化学コース、環境化学コース、食品科学コース）	3人程度
	※機械工学科（機械設計コース、エネルギー機械コース）	3人程度
	ロボティクス学科（ロボット設計コース、ロボット制御コース）	3人程度
	電子情報工学科（電気電子コース、情報通信コース）	3人程度
	※情報学科（情報システムコース、情報メディアコース）	3人程度
	※建築学科（建築学コース、インテリアデザインコース）	3人程度
産業理工学部	生物環境化学科	5人程度
	電気電子工学科	5人程度
	建築・デザイン学科	5人程度
	情報学科	3人程度
	経営ビジネス学科	5人程度

※の付いた学科・コースでは、JABEE 認定プログラム（あるいはそれに準じた教育プログラム）を実施しています。これらの学科・コースを志願する場合は 15 ～ 16 ページの「JABEE プログラムについて」を参照してください。

（２）編入学年

原則として第３学年としますが、次の点にご留意ください。また、下記以外の学部・学科・専攻においても選考の結果その学年での許可にならないことがあります。

① 総合社会学部総合社会学科心理系専攻および産業理工学部生物環境化学科では、第３学年進級に必要な科目を修得していなければ、第３学年に許可されない場合があります。

② 情報学部、理工学部、建築学部、文芸学部、農学部、生物理工学部、工学部および産業理工学部では、シラバスに基づいて単位認定を行いますので、認定される単位によっては第３学年に許可されない場合があります。（13ページの「１１.編入学後の既修得科目の単位認定について」を参照）

出願する前に必ず出願予定の各学部（各キャンパス）学生センターへお問い合わせください。

３．出願資格　次の各項のいずれかに該当する者とします。本学学部の在学生については、令和６年３月卒業見込みの者に限り、出願可能です。

※卒業見込みで出願し、編入学試験に合格した者が、期日までに卒業証明書を提出しない場合は、合格を取り消します。（詳細は16ページ「15.その他」を参照してください。）

情報学部・理工学部

（１）４年制大学（６年制大学）の理工系学部・学科を卒業した者、または２年次以上修了（見込み）の者で、６２単位以上を修得（見込み）の者。（注１）

（２）理工系短期大学卒業（見込み）の者。

（３）工業系高等専門学校卒業（見込み）の者。

（４）高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が２年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

（５）理工系専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

法学部・経済学部・経営学部〔一般入学選考〕・文芸学部・総合社会学部

（１）学士の学位を有する者。

（２）４年制大学の２年次以上修了（見込み）の者で、６２単位以上を修得（見込み）の者。（注1）

（３）短期大学または高等専門学校卒業（見込み）の者、その他同等以上の学力を有する者。

（４）高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が２年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

（５）専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

※法学部、経営学部、文芸学部に海外の高等教育機関から出願する場合は、事前に各学部学生センターに相談のうえ、出願資格審査を受けてください。

経営学部〔学内入学選考〕

（１）本学短期大学部（通学課程、通信課程）を卒業見込みの者。

建　築　学　部

（１）４年制大学（６年制大学）の理工系学部・学科を卒業した者、または２年次以上修了（見込み）の者で、６２単位以上を修得（見込み）の者。

（２）理工系短期大学卒業（見込み）の者。

（３）工業系高等専門学校卒業（見込み）の者。

（４）高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の理工系課程（修業年限が２年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

（５）理工系専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

※海外の高等教育機関から出願する場合は、事前に建築学部学生センターに相談のうえ、出願資格審査を受けてください。

農　学　部

（１）４年制大学（6年制大学）の第2学年修了（見込み）の者で62単位以上を修得（見込み）の者。（注1）

（２）短期大学または高等専門学校卒業（見込み）の者。

（３）高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が２年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

（４）専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

生物理工学部

（１）４年制大学（６年制大学）を卒業した者、または第２学年修了（見込み）の者で６２単位以上を修得（見込み）の者。短期大学または高等専門学校卒業（見込み）の者。（注１）

（２）高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が２年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

（３）専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

工　学　部

（１）４年制大学（６年制大学）の理工系学部・学科を卒業した者、または２年次以上修了（見込み）の者で、６２単位以上を修得（見込み）の者。（注１）

（２）理工系短期大学卒業（見込み）の者。

（３）工業系高等専門学校卒業（見込み）の者。

（４）高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が２年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

（５）理工系専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

※上記（４）により出願を希望する場合は、事前に広島キャンパス学生センターに相談してください。

産業理工学部

（１）４年制大学（６年制大学）を卒業した者、または２年次以上修了（見込み）の者で、６２単位以上を修得（見込み）の者。（注1）

（２）短期大学（通信教育を行う学部を含む）を卒業（見込み）の者。

（３）高等専門学校卒業（見込み）の者。

（４）高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が２年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

（５）専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

（注１）情報学部、経済学部、理工学部、総合社会学部、農学部、生物理工学部、工学部、産業理工学部において、出願資格における大学とは、日本の法律（学校教育法等）に基づくものを指し、外国の大学やその日本校は出願資格がありません。

４．出願手続

（１）出願期間

情　報　学　部	令和５年　９月２１日（木）～　９月２９日（金）
法　学　部 経　済　学　部 経　営　学　部 〔学内入学選考・一般入学選考〕	令和５年　８月２１日（月）～　８月３０日（水）
理　工　学　部	令和５年　９月２１日（木）～　９月２９日（金）
建　築　学　部	
文　芸　学　部	令和５年　８月３１日（木）～　９月　８日（金）
総合社会学部	令和５年　９月２１日（木）～　９月２９日（金）
農　学　部	令和５年　９月　１日（金）～　９月　８日（金）
生物理工学部	令和５年　８月３１日（木）～　９月　８日（金）
工　学　部	令和５年　９月　１日（金）～　９月　８日（金）
産業理工学部	令和５年　９月２５日（月）～　９月２９日（金）

（２）出願方法

振込依頼票を印字のうえ、入学検定料を銀行振込し、下記の出願書類を郵送してください。出願は郵送に限ります。（出願締切日消印有効）学内併願をする場合、出願書類および入学検定料は、それぞれ個別に必要です。出願書類は、志望学部ごとに封筒を準備し、郵送してください。

出願書類

①編入学志願票（本学所定の書式）

※志望学部に専攻・コースがある場合は、必ず記入してください。

〔志願票記入上の注意〕

必ず受験者本人が記入してください。文字は楷書で丁寧に記入し、記入漏れのないように注意してください。黒インクのペンまたは、黒ボールペン（消せるボールペンは不可）で枠内に濃く、はっきりと記入してください。修正する場合は、修正液または、二重線で消して書き直してください。

近畿大学通信教育部を卒業または卒業見込みの方は、出身学校欄に「通信教育部」を書きもれないようにご注意ください。

②卒業証明書（卒業見込者は卒業見込証明書、在学中の者は在学証明書、その他の者は在籍期間を証明する書類）

③成績証明書（在学中の者は本年度履修中の科目を確認できる書類も提出してください。）
（情報学部・理工学部・建築学部・文芸学部・農学部・生物理工学部・工学部受験者は、履修済および履修中科目の授業計画（シラバス）を提出してください。（コピー可））

④写　　真　上半身、脱帽、正面向（タテ４cm×ヨコ３cm）で出願時から**３カ月以内**に撮影されたものを、裏面に氏名を記入のうえ受験副票に貼付してください。
（カラー写真に限る。スナップ写真は不可）

⑤振込通知書（本人→大学）　**志願票・振込依頼票などを合わせて銀行窓口に提出し、収納印を受けてください。**

⑥入学検定料　35,000円、ただし産業理工学部は32,000円

（注）一旦納入された入学検定料は、原則返還いたしません。入学検定料は志願票・振込依頼票等に必要事項を記入のうえ金融機関から電信扱いで振り込みをしてください。ゆうちょ銀行からの振り込みおよび、ATM(自動振込機)からの振り込みはできません。

⑦専修学校の専門課程を修了（修了見込み）の者については、編入学資格証明書 書式１ ※も記入し、同封してください。

（注）出願時に、本学通信教育部商経科を卒業または卒業見込みの者で、かつ専修学校の専門課程を卒業または卒業見込みの者は、本学通信教育部商経科の卒業証明書(または卒業見込証明書)および成績証明書を提出してください。

⑧高等学校等の専攻科の課程を修了（修了見込み）の者については、編入学資格証明書 書式２ ※も記入し、同封してください。

⑨志望理由書※（法学部・経営学部〔学内入学選考、一般入学選考〕・文芸学部・総合社会学部・生物理工学部受験者のみ）

（３）出願先 近畿大学編入学試験志願票受付係または、学生センター入試係
（各キャンパス用の宛名ラベル※を印刷し、市販の角２封筒に貼付してください。宛名ラベルの印刷ができない方は、市販の角２封筒に宛名ラベルの内容を記入してください。）
（４）受験票 後日志願票記載の連絡先に送付します。

※志願票、編入学資格証明書（書式１・書式２）、志望理由書、宛名ラベルは、入試情報サイトの「入試情報・学費」→「入試日程・制度」→「その他の入試制度」→「その他の入試制度詳細（https://kindai.jp）」→「編入学試験」からダウンロードし、記入してください。

〈障がいのある人、不慮の事故による負傷者・疾病者の受験および修学上の配慮に関する申し出について〉
（１）身体機能障がい・発達障がい等、また疾病・負傷により、受験時および編入学後の修学に配慮を必要とする場合は、原則として出願する１カ月前までに、各学部学生センター入試係に申し出てください。（改めて、学生部障がい学生支援課から連絡いたします。）受験予定のすべての日程で申し出が必要です。事前に診断書等の書類を提出いただくことがあります。なお、申し出が編入学試験の合否に影響することはありません。
（２）出願後の不慮の事故等による負傷・急な疾病等で受験時に特別な配慮と措置を希望する場合は、至急各学部学生センター入試係に申し出てください。
（３）申請に基づいて障がい等の状況に応じた配慮を行いますが、ご希望に添えない場合もありますので予めご了承ください。

５．試験日時

学部	試験日	集合時間
情報学部	令和５年１０月１４日（土）	**午前９時３０分**までに下記の指定された試験室に集合してください。 ※情報学部のみ午前９時までに集合してください。
法学部 経済学部 経営学部 〔学内入学選考・一般入学選考〕	令和５年　９月　９日（土）	
理工学部 建築学部 文芸学部 総合社会学部 農学部 生物理工学部	令和５年１０月１４日（土）	
工学部	令和５年１０月　７日（土）	
産業理工学部	令和５年１０月１４日（土）	

６．試験場・試験室

《情報学部・法学部・経済学部・経営学部・理工学部・建築学部・文芸学部・総合社会学部》
東大阪キャンパス〔大阪府東大阪市小若江 3－4－1〕

情報学部	Ｅキャンパス　Ｅ館１階１０１教室
法学部	Ｅキャンパス　Ｃ館１階１０３教室
経済学部	Ｅキャンパス　Ｂ館５階５０１教室
経営学部 〔学内入学選考・一般入学選考〕	２１号館２階　２１－２０３・２０４教室
理工学部	１７号館１階　１７－１０３教室
建築学部	３３号館３階　３３－３０３教室
文芸学部	Ｅキャンパス　Ａ館３階３０３教室
総合社会学部	Ｅキャンパス　Ｇ館４階４０１教室

《農学部》　奈良キャンパス〔奈良県奈良市中町 3327－204〕

農学部	新教室棟２階　２１１教室

《生物理工学部》　和歌山キャンパス〔和歌山県紀の川市西三谷 930〕

生物理工学部	２号館２階　２５２教室

《工学部》　広島キャンパス〔広島県東広島市高屋うめの辺１番〕

工学部	Ｃ館２階　２１５教室

《産業理工学部》　福岡キャンパス〔福岡県飯塚市柏の森 11-6〕

産業理工学部	１号館２階　１２０１教室

７．選考方法

学科試験・口頭試問（経営学部を除く）および出身学校の成績を総合して合否を判定します。
各学部の試験科目は下記のとおりです。

<table>
<tr><td>情　報　学　部</td><td colspan="2">「外国語（英語）※1」「数学」「情報」
「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」</td></tr>
<tr><td>法　　学　　部</td><td colspan="2">「外国語（英語）」「法学に関する基礎テスト」
「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」</td></tr>
<tr><td>経　済　学　部</td><td colspan="2">「外国語（英語）」「経済学に関する基礎テスト」
「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」</td></tr>
<tr><td>経　営　学　部
〔学内入学選考・一般入学選考〕</td><td colspan="2">「外国語（英語）」
「経営学、商学、会計学、キャリア・マネジメント学に関する基礎テスト」</td></tr>
<tr><td>理　工　学　部</td><td colspan="2">「外国語（英語）」「数学」「理科（物理・化学または生物）」
「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」
（注）「理科」について
・「物理」を指定する学科
理学科（数学コース）、理学科（物理学コース）、機械工学科
電気電子通信工学科、社会環境工学科
・「化学」を指定する学科
理学科（化学コース）、応用化学科
・「生物」または「化学」を指定する学科（出願時に選択）
生命科学科
・「物理」または「化学」を指定する学科（出願時に選択）
エネルギー物質学科
※受験当日、受験科目の変更はできません。</td></tr>
<tr><td>建　築　学　部</td><td colspan="2">「外国語（英語）」「数学」「理科（物理）」
「口頭試問（専門科目に関する内容を含む）」
（注）物理の出題範囲…質点力学</td></tr>
<tr><td rowspan="3">文　芸　学　部</td><td>文学科
芸術学科　舞台芸術専攻
文化・歴史学科</td><td>「外国語（英語）」
「小論文」
「口頭試問（志望理由を含む）」</td></tr>
<tr><td>芸術学科　造形芸術専攻</td><td>「外国語（英語）」
「小論文」または「実技」（鉛筆デッサン）
「口頭試問（志望理由を含む）」</td></tr>
<tr><td>文化デザイン学科</td><td>「外国語（英語）」「小論文」「プレゼンテーション※2」</td></tr>
<tr><td>総合社会学部</td><td colspan="2">「外国語（英語）」「基礎テスト（志望専攻に関する内容）※」
「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」
※社会・マスメディア系専攻（現代社会コース）の基礎テストは、盛山和夫ほか編著（2017）『社会学入門』ミネルヴァ書房の範囲から出題します。</td></tr>
<tr><td>農　　学　　部</td><td colspan="2">農業生産科学科
水　産　学　科　　「外国語（英語）」
応用生命化学科　　「生物・物理・化学」から１科目選択
環境管理学科　　「口頭試問（志望理由を含む）」
生物機能科学科
※外国語については辞書１冊に限り持ち込みを認めます（ただし、電子辞書は不可）</td></tr>
<tr><td>生物理工学部</td><td colspan="2">「外国語（英語）」「理科（生物・化学・物理）」「数学」のうち1科目選択
「口頭試問」</td></tr>
<tr><td>工　　学　　部</td><td colspan="2">「外国語（英語）」または「数学」「小論文」
「口頭試問（志望理由を含む）」</td></tr>
<tr><td rowspan="6">産業理工学部</td><td>全学科共通</td><td>受験当日、受験科目の変更はできません。
「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」
※建築・デザイン学科の志願者は建築設計製図関連授業の提出課題（複製、写真可）を持参してください（必須）</td></tr>
<tr><td>生物環境化学科</td><td>「外国語（英語）」
「無機化学、有機化学、生物化学・生物学から１科目選択（出願時に選択）」</td></tr>
<tr><td>電気電子工学科</td><td>「数学」・「電気回路」</td></tr>
<tr><td>建築・デザイン学科</td><td>「外国語（英語）」・「構造力学」</td></tr>
<tr><td>情　報　学　科</td><td>「外国語（英語）」・「情報処理概論」</td></tr>
<tr><td>経営ビジネス学科</td><td>「外国語（英語）」・「経営学、会計学から１科目選択（出願時に選択）」</td></tr>
</table>

※１ 情報学部の「外国語（英語）」について

TOEIC L&R 730 点以上の証明書（出願時点で１年以内に限る）を提出すれば、外国語は満点とみなし、外国語の試験を免除します。出願書類に追加してご提出ください。（集合時間の変更があります）

※２ 文芸学部文化デザイン学科の選考方法について

１．プレゼンテーション

『文化デザイン学科での抱負』というテーマで、当学科への編入動機を伝える。

発表方法

①パワーポイントによるプレゼンテーション

なるべく写真や画像などを用いて、視覚的にわかりやすく、かつ独創性のある内容にしてください。スライドの枚数は自由。内容もさることながら、スライドの構成やデザイン、話し方も審査対象となります。原稿メモは準備しても構いませんが、基本的には原稿を読まずに審査官の方を向いて話すこと。

動画や音声を挿入する場合は、ソフト環境が整ったご自身のパソコンをお持ちください。

(試験場のパソコンでは再生できない場合があります。)

成果物や作品現物がある場合は、１、２点に絞って持ち込み可能とします。

（冒頭のスライドタイトルは『文化デザイン学科での抱負』、その下に氏名を書く。）

②発表時間：15 分

③Ａ４用紙１枚のレジュメを作成

２．プレゼンテーションに続いて、質疑応答面接 20 ～ 30 分

３．パワーポイントデータ提出について

提出期間：令和５年８月 31 日（木）～９月８日（金）

提出先：〒577-8502　大阪府東大阪市小若江 3-4-1　文芸学部学生センター 宛

提出期間中にパワーポイントのデータを記録した CD や DVD などの記録媒体を日本郵便のレターパックを用いて上記の提出先まで郵送してください。(当日消印有効)

なお、動画ファイルや音声ファイルをパワーポイントに埋め込む場合は、パワーポイントのデータだけでなく、もともとの動画ファイルや音声ファイルのデータも一緒に郵送してください。

〈不正行為について〉

受験の際は、すべて試験監督者の指示に従ってください。なお、以下の行為をすると不正行為となる場合があります。

・カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
・受験者以外の者が、受験者本人になりすまして試験を受けること。
・答えを教えるなど、他の受験者に利するような行為をすること。
・使用を認められていない用具を使用して解答すること。
・試験開始や終了の指示など、監督者の指示に従わないこと。
・試験時間中に試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具を身に付けていたり手に持っていること。
・試験時間中に、携帯電話・時計・携帯音楽プレーヤー等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

以上の行為に対し、不正行為が認められた場合は、ただちに試験の中止と退室を命じ、それ以後の受験はできません。また、すでに受験している当該年度の入学試験もすべて無効とし、以後に実施される当該年度の入学試験の受験は認めません。(入学検定料の返還はいたしません)

８．試験時間割

試験開始から３０分を経過した遅刻者は受験できません。

学部＼時間	9：00	9：30〜10：30（６０分）	10：50〜12：20（９０分）		13：10〜14：10（６０分）	14：30〜
情報学部	集合	外国語（英語）	数学	昼食	情報	口頭試問

学部・学科＼時間		9：30	10：00〜11：00（６０分）	11：30〜12：30（６０分）		13：30〜14：30（６０分）	15：00〜
法学部		各試験室に集合	外国語（英語）	基礎テスト	昼食	口頭試問	
経済学部				基礎テスト			
経営学部〔学内入学選考・一般入学選考〕				基礎テスト			
理工学部				数学	昼食	理科	口頭試問
建築学部							
文芸学部	文学科 芸術学科（舞台芸術専攻） 文化・歴史学科			小論文		口頭試問（志望理由含む）	
	文化デザイン学科					プレゼンテーション	
	芸術学科（造形芸術専攻）			小論文または実技		口頭試問（志望理由含む）	
総合社会学部				基礎テスト		口頭試問	
農学部	農業生産科学科 水産学科 応用生命化学科 環境管理学科 生物機能科学科		外国語（英語）	「生物」 「物理」 「化学」 から1科目選択		口頭試問（志望理由含む）	
生物理工学部	生物工学科 遺伝子工学科 食品安全工学科 生命情報工学科 人間環境デザイン工学科		外国語（英語）	「生物」 「化学」 「物理」 「数学」 から1科目選択		口頭試問	
工学部			外国語（英語）または数学	小論文		口頭試問（志望理由含む）	
産業理工学部	生物環境化学科		外国語（英語）	「無機化学」 「有機化学」 「生物化学・生物学」 から１科目選択		口頭試問	
	電気電子工学科		数学	電気回路			
	建築・デザイン学科		外国語（英語）	構造力学			
	情報学科			情報処理概論			
	経営ビジネス学科			「経営学」「会計学」 から１科目選択			

９．合格発表

郵送にて通知します。

学　　部	合　格　発　表　日
情　報　学　部	令和５年　１１月　８日（水）
法　　学　　部 経　済　学　部	令和５年　　９月２６日（火）
経　営　学　部	令和５年　　９月２７日（水）
理　工　学　部 建　築　学　部 文　芸　学　部	令和５年　１１月　８日（水）
総合社会学部	令和５年　１１月　７日（火）
農　　学　　部	令和５年　１１月　８日（水）
生物理工学部	令和５年　１１月　７日（火）
工　　学　　部	令和５年　１１月　１日（水）
産業理工学部	令和５年　１１月　８日（水）

１０．編入学手続

学　　部	手　続　期　間　（消　印　有　効）
情　報　学　部	令和５年　１１月　８日（水）～　１２月　６日（水）
法　　学　　部 経　済　学　部	令和５年　　９月２６日（火）～　１０月１６日（月）
経　営　学　部	令和５年　　９月２７日（水）～　１０月１７日（火）
理　工　学　部	令和５年　１１月　８日（水）～　１２月　６日（水）
建　築　学　部	令和５年　１１月　８日（水）～　１１月２１日（火）
文　芸　学　部	令和５年　１１月　８日（水）～　１２月１３日（水）
総合社会学部	令和５年　１１月　７日（火）～　１１月２１日（火）
農　　学　　部	令和５年　１１月　８日（水）～　１２月１５日（金）
生物理工学部	令和５年　１１月　７日（火）～　１２月　６日（水）
工　　学　　部	令和５年　１１月　１日（水）～　１２月１５日（金）
産業理工学部	令和５年　１１月　８日（水）～　１２月１５日（金）

編入学手続きに必要な書類一式を合格通知書とあわせて本人宛に郵送します。
上記手続期間内に学費等納入金を銀行振込（電信扱いに限る）により納入し、同時に
編入学に必要な関係書類を大学に提出または郵送し、手続きを完了してください。
期間内に手続きを完了しない場合は、合格を取り消します。

１１．編入学後の既修得科目の単位認定について

既に修得している科目の単位は、各学部の定めるところにより認定します。
その際、出身学校の履修要項、授業計画（シラバス）等の提出を求めることがあります。

（注）情報学部、理工学部、建築学部、文芸学部、総合社会学部、農学部、生物理工学部、工学部および産業理工学部については、提出された最終の成績証明書をもとに、改めて既修得科目の単位認定を行いますが、出願時に提出された修得見込科目を含めた成績証明書から科目数および単位数が減少している場合、合格通知書に記載された編入学許可学年とならない場合があります。

１２．入学辞退

入学手続完了者が入学を辞退（学費返還を伴う）される場合は、合格通知書（入学に必要な書類等）に同封いたします「入学手続マニュアル」をご確認いただき令和６年３月３０日（土）窓口終了時間までに「入学辞退に伴う学費等返還願」を提出願います。また、本年度は３月３１日が日曜日であることから窓口受付期限が例年より早くなっておりますが、郵便による場合は令和６年３月３１日（日）必着で取り扱いますので、あわせてご利用ください。後日、入学金（入学申込金）を除く学費等を返還します。学費等の返還は、４月末日までに銀行振込にて送金します。

入学辞退（学費等返還）に関する問い合わせ（提出）先			
学　部	住　所　・　電　話		宛　先
情報学部	〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1	(06)4307-3116	情報学部学生センター入試係
法学部		(06)4307-3041	法学部学生センター入試係
経済学部		(06)4307-3043	経済学部学生センター入試係
経営学部		(06)4307-3045	経営学部学生センター入試係
理工学部		(06)4307-3047	理工学部学生センター入試係
建築学部		(06)4307-3057	建築学部学生センター入試係
文芸学部		(06)4307-3061	文芸学部学生センター入試係
総合社会学部		(06)4307-3062	総合社会学部学生センター入試係
農学部	〒631-8505　奈良県奈良市中町 3327-204 (0742)43-1849		奈良キャンパス学生センター入試係
生物理工学部	〒649-6493　和歌山県紀の川市西三谷 930 (0736)77-3888		和歌山キャンパス学生センター入試係
工学部	〒739-2116　広島県東広島市高屋うめの辺1番 (082)434-7006		広島キャンパス学生センター入試係
産業理工学部	〒820-8555　福岡県飯塚市柏の森 11-6 (0948)22-5655		福岡キャンパス学生センター入試係

１３．個人情報の保護

本学志願時に志願票に記入いただいた住所、氏名、その他個人情報は、

１．受験票、合格通知および入学手続書類発送
２．合格者への下宿案内等、学生生活を始める際に必要な情報の提供
３．個人を特定しない各種統計資料作成

を行うために利用いたします。

上記１～３の作業は本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「委託業者」）において行います。

業務委託にあたり、記入いただいた個人情報の全部または一部を委託業者に提供することがありますが、上記１～３にのみ利用し、委託業務を超えた利用はありません。

あらかじめご了承ください。

１４．理工学部、工学部受験希望の方へ

JABEE プログラムについて

（１）日本技術者教育認定制度とは？

大学等の高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準や国際的な要求水準を満たしているかどうかを、外部評価機関である日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education：JABEE 1999 年設立）が評価し、一定水準以上の教育プログラムを認定する専門認定制度です。
(JABEE ホームページ：https://jabee.org/)

学問を教えるだけの工学教育から国際的にも通用する技術者を育てる技術者教育への転換を実現するための制度といえます。認定された場合、そのプログラムの修了者は JABEE 認定プログラム修了者であると認定され、次の（2）に挙げるようなメリットがあります。

（２）JABEE 認定プログラム修了者とは？

JABEE 認定プログラムとは社会の要求する技術者教育の基準を満たしているプログラムのことです。したがって、認定プログラムの修了者は、必然的に社会の要求する技術者水準に達していると外部からも評価されることになります。

・単なる知識の詰め込みだけでなく、知識を応用する力、コミュニケーション能力、自己学習能力などが強化され、即戦力を期待する社会に自信をもって巣立っていくことができます。
・質の高い技術者教育を修了したことが客観的に証明されますので、就職・進学等、修了者は有利な評価を受けることになります。
・JABEE 認定プログラム修了者は「修習技術者」となり、国家資格である「技術士」の第一次試験が免除されます。
・JABEE は、技術者教育の実質的同等性を国際的に認め合う取り決めであるワシントン協定やソウル協定等に加盟しています。したがって、JABEE 認定プログラム修了者は、他の加盟国（アメリカ、カナダ、オーストラリア等）の認定プログラム修了者と同等に評価され、国際的に通用する教育を受けたことが保証されることになります。

（３）理工学部、工学部の現在の取り組み

理工学部、工学部では、早くから授業評価アンケートや FD・SD研修会など授業改善に向けた様々な取り組みを続けていますが、JABEE プログラムでは、受講者が、自主性や社会性、専門的な知識の応用力、デザイン能力、問題解決能力、コミュニケーション能力、チームワーク能力などを有していることを要求しています。

また、受講者の学習・教育到達目標を明確にすることや、厳密かつ透明性のある成績評価なども要求されています。さらには、プログラム自体を自己評価し、自ら改善していく仕組みをつくり継続的な活動を行う必要もあります。

これらの要件は、いずれも理工学部、工学部が目指す理想の教育の方向性と完全に一致しており、理工学部、工学部ではこれに近畿大学の「実学重視」の伝統を加味して、JABEEプログラムの要件を満たした学科ごとの新しいプログラムを立ち上げました。

このように、社会の要求する、さらには、国際社会に通用する高い技術者教育の実現を目指す理工学部、工学部のカリキュラムは、学生のみなさんにとっては「厳しい」、「必修科目が多い」といった印象を与えてしまうかもしれません。

しかし、そのようなより高いハードルを設定し、これらを乗り越えるという姿勢こそが、高等教育機関としての大学本来のあり方であり、社会に通用する技術者教育の実現に向けて、これからも理工学部、工学部は努力を続けていきます。

理工学部、工学部のカリキュラムや JABEEプログラムに対する現在の取り組みについては、適宜ホームページで公開しますので、ぜひ閲覧してください。

近畿大学ホームページ（https://www.kindai.ac.jp/）から、理工学部、工学部のホームページを参照してください。

（４）注意事項

① 受験者の在籍している学部・学科・コースのシラバス等を参考に、JABEE対応およびそれに準じた各学科・コースのプログラムとの整合性を判断した結果、既修得科目の単位認定ができない場合があります。

② 下記の学科・コースでは、必修科目または選択必修科目等の単位認定（互換）のための試験を別途実施する場合があります。詳細については、別途指示します。

理工学部

応用化学科、電気電子通信工学科、社会環境工学科

工学部

化学生命工学科、機械工学科、情報学科、建築学科

１５．その他

（１）編入学手続完了者のうち

①卒業（修了）見込みで受験した者は、令和６年３月３１日（日）（必着）までに卒業（修了）証明書および成績証明書を提出してください。提出のない場合は合格を取り消します。

②４年制大学の２年次以上修了見込みまたは６２単位以上修得見込みで受験した者は、令和６年３月３１日（日）（必着）までに成績証明書を提出してください。提出のない場合または取得単位数が満たない場合は合格を取り消します。（農学部は除く）

※ただし、以下に記載された学部については、提出期限が異なります。
情報学部・理工学部・工学部：令和６年３月１３日（水）
建築学部・文芸学部：令和６年 ３月２１日（木）までに提出してください。
経営学部・総合社会学部・産業理工学部：書類（卒業（修了）証明書・成績証明書・在籍期間を証明する書類）の提出については、合格通知書と合わせてお知らせします。

（２）合格は総合判定のため、志願どおりの学年に許可されない場合があります。

（３）一度受理した手続書類および入学金は、返還しません。

１６．学費等一覧表（令和６年度編入学生用）

費目	対象	法学部	経済学部 経営学部	情報学部 理工学部 建築学部 文芸学部 （芸術学科）	文芸学部 (芸術学科以外) 総合社会学部	農学部 生物理工学部	工学部	産業理工学部 (経営ビジネス学科以外)	産業理工学部 (経営ビジネス学科)
入学金	編入学時のみ	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
授業料（※前期分）	第３年次	1,125,000 (※562,500)	1,125,000 (※562,500)	1,502,000 (※751,000)	1,125,000 (※562,500)	1,502,000 (※751,000)	1,438,000 (※719,000)	1,304,000 (※652,000)	929,000 (※464,500)
	第４年次	1,145,000 (※572,500)	1,145,000 (※572,500)	1,532,000 (※766,000)	1,145,000 (※572,500)	1,532,000 (※766,000)	1,468,000 (※734,000)	1,334,000 (※667,000)	959,000 (※479,500)
課外活動育成費（※前期分）	毎年次	20,000 (※10,000)	20,000 (※10,000)	20,000 (※10,000)	20,000 (※10,000)	20,000 (※10,000)	20,000 (※10,000)	20,000 (※10,000)	20,000 (※10,000)
学生健保共済会費	毎年次	6,500	6,500	6,500	6,500	4,500	4,500	4,500	4,500
学部学生部会費	毎年次	800	900	—	—	—	第3年次 10,000 第4年次 2,000	—	—
編入学時納入金		829,800	829,900	1,017,500	829,000	1,015,500	993,500	916,500	729,000
第３年次年間納入金		1,402,300	1,402,400	1,778,500	1,401,500	1,776,500	1,722,500	1,578,500	1,203,500
第４年次年間納入金		1,172,300	1,172,400	1,558,500	1,171,500	1,556,500	1,494,500	1,358,500	983,500

（備考）

１．上記学費等は第３学年に編入学を許可された場合の納入金です。なお、本学学園内から編入した場合の入学金は、一律150,000円です。
第２学年に編入学を許可された場合は納入金が異なります。

２．編入学時納入金は入学金、第３年次の授業料〔前期分〕、課外活動育成費〔前期分〕、学生健保共済会費、学部学生部会費（法、経済、経営、工の各学部）の合計額です。

３．表示額以外に、校友会終身会費30,000円が必要です（入学年次に20,000円、最終学年次に10,000円）。入学後、校友会の準会員となり、卒業後、正会員になります。なお、既に校友会終身会費を全額納めている者は不要です。

４．総合社会学部総合社会学科心理系専攻では、「心理実習」を履修する場合、別途実習費を徴収します。

５．学費等納入金は入学を許可された学年により異なります。

６．上記費用以外に入学前において、寄付金や学校債のご協力をお願いすることはありません。

７．入学後には全学でノートパソコンが必携化となります。詳しくは、18ページを参照してください。

ノートパソコン必携化について

近畿大学では、建学の精神「実学教育と人格の陶冶」のもと、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人を育成すること」を教育の目的とし、この理念に共感する入学者を国内外から広く受け入れ、皆さんが心ゆくまで学べる環境づくりに全力で取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ目的で、従来の対面授業に加え、メディア授業の利用・促進・普及が急速に進展することとなりました。これからの大学教育は、学生が必要とする時に「いつでも、どこでも」デジタル化された学習コンテンツを利用できる環境で行われるようになり、学生生活をおくる上でパソコンは必携すべきツールとなります。また、本学のアドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）には「社会のニーズに対応できる実学や教養及び国際性を身につけたい人」という項目がございます。それは情報通信技術（ICT）を十分に活用できる能力を有し、Society5.0 やデジタルトランスフォーメーション（DX）といった言葉のもと、今後ますます情報化が進む社会において必要とされる人材となりうる学生を受け入れ、育成するという方針です。

この方針のもと、学生自身の主体的で自由な学び、オンラインと対面を組み合わせたいつでもどこでも学べる環境づくり、学習教材やレポート等のペーパーレス化を推進するため、令和 4 年度の入学生よりノートパソコンを必携化することにいたしました。

つきましては、下記の Web サイトにて公開しております学部学科・研究科ごとの性能要件を参考に、ノートパソコンをご準備いただく必要があることをご理解くださいますようお願いいたします。

【学部学科・研究科ごとの性能要件】

https://www.kindai.ac.jp/for-students/laptop/

※既に要件を満たすノートパソコンをお持ちの場合は、新たに購入される必要はありません。

1. Windows11 に対応した PC について

Windows10 から Windows11 へのアップグレードに必要な要件は、下記の Microsoft 社公式 Web サイトをご参照ください。

Windows11 のシステム要件：https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-11-specifications

2.ソフトウェアについて

近畿大学の学生は在学中のみ Microsoft Office 製品をはじめ授業等で利用するソフトウェアを無償でご利用いただけますので、あらかじめインストールされたパソコンをご購入いただく必要はございません。詳しくは KUDOS WEB をご覧ください。

KUDOS WEB　BYOD について：https://kudos.kindai.ac.jp/cms/html/byod.html

3.ノートパソコンの購入およびレンタルについて

標準スペックを備えたノートパソコンを近畿大学生活協同組合及び株式会社近大アシストから購入もしくはレンタルが可能です。また、Apple 公式のオンラインストアではアカデミック価格で購入できる専用の Web サイトがございますのでご確認ください。

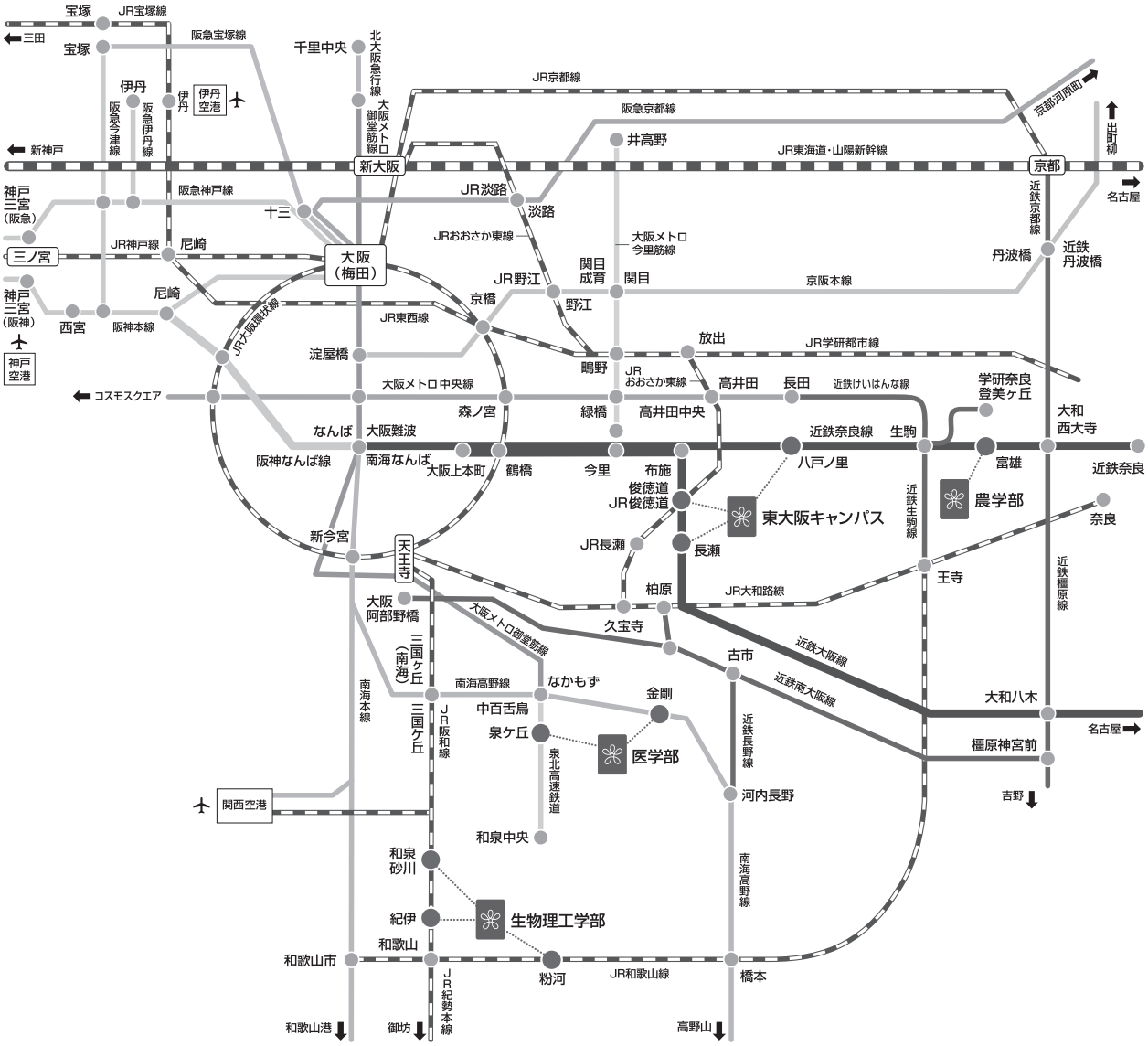
ノートパソコン必携化に関するお問い合わせ先：

各学部学生センター：https://www.kindai.ac.jp/contact/#cont02

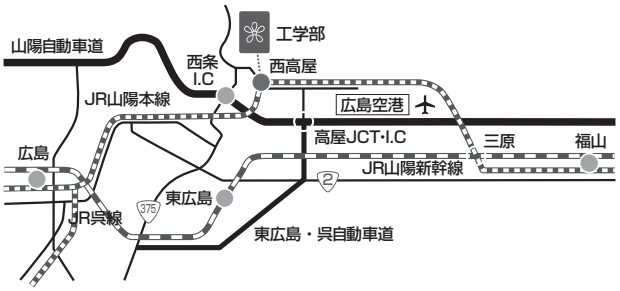
アクセスマップ

東大阪キャンパス、奈良キャンパス（農学部）、大阪狭山キャンパス（医学部）、和歌山キャンパス（生物理工学部）

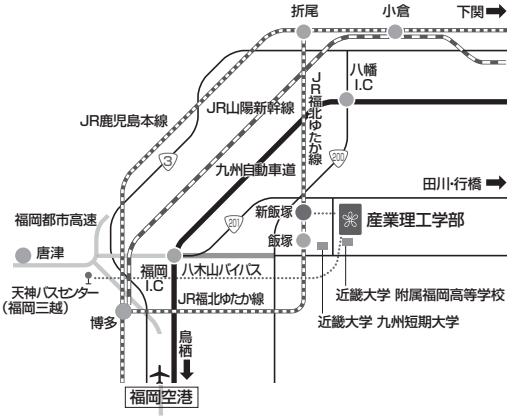
路線図



広島キャンパス（工学部）



福岡キャンパス（産業理工学部）



近畿大学（東大阪キャンパス）

情報学部・法　学　部・経済学部・経営学部

理工学部・建築学部・文芸学部・総合社会学部

〒577−8502
大阪府東大阪市小若江３－４－１
電話　情報学部　（０６）４３０７－３１１６
法学部　（０６）４３０７－３０４１
経済学部　（０６）４３０７－３０４３
経営学部　（０６）４３０７－３０４５
理工学部　（０６）４３０７－３０４７
建築学部　（０６）４３０７－３０５７
文芸学部　（０６）４３０７－３０６１
総合社会学部（０６）４３０７－３０６２

農学部（奈良キャンパス）

〒631−8505
奈良県奈良市中町３３２７－２０４
電話（０７４２）４３－１８４９

生物理工学部（和歌山キャンパス）

〒649−6493
和歌山県紀の川市西三谷９３０
電話（０７３６）７７－３８８８

工学部（広島キャンパス）

〒739−2116
広島県東広島市高屋うめの辺１番
電話（０８２）４３４－７００６

産業理工学部（福岡キャンパス）

〒820−8555
福岡県飯塚市柏の森１１－６
電話（０９４８）２２－５６５５